

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	江の島地区周辺整備事業費										担当	部課名	計画建築部江の島地区周辺整備担当				
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	010	説明	01	課	課等の長	飯田 健一	電話	4250

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	片瀬・江の島の玄関口として利用されている片瀬江ノ島駅が、玄関口としてふさわしい空間となるよう、交通広場の新設など交通結節機能の強化を行い公共交通利用の促進、周辺の回遊性向上・生活利便性の向上及び観光の振興を図る。						
事業目的および必要性	片瀬江ノ島駅が、片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい空間となるよう、片瀬江ノ島駅周辺に交通結節機能としての交通空間機能と、人々の交流などのための環境空間機能を持つ駅前広場を整備する。また、東京2020オリンピック競技大会のセーリング協議開催時には多くの来訪者が想定されることから、片瀬江ノ島駅駅前広場をおもてなしの空間となるよう、整備する必要がある。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	法律等 道路法, 道路交通法, 土地収用法, 藤沢市都市マスタープラン等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 間瀬コンサルタント)						
	(委託等内容 : 片瀬江ノ島駅駅前広場基本設計委託)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名			指針体系コード				
『2020年』に向けてまちの魅力を創出する			2-2-81				
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
駅をはじめとする拠点の整備について		2.89 点	2.91 点	2.94 点	2.98 点		
		点	点	点	点		

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	旅費	111 千円	普通旅費
	需用費	226 千円	消耗品費, 印刷製本費
	15,975 千円	87 千円	不動産鑑定手数料
	15,551 千円	片瀬江ノ島駅駅前広場基本設計委託	
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	旅費	163 千円	普通旅費
	需用費	1,700 千円	消耗品費, 印刷製本費
	16,435 千円	1,610 千円	土地賃借料
	12,962 千円	鶴沼海岸10号踏切道調査設計	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等		4.00	4.00	4.00
再任用短時・任期付短時職員		0.00	0.00	0.00
非常勤職員		0.00	0.00	0.00
合計	0.00	4.00	4.00	4.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	片瀬江ノ島駅前広場整備に向けた基本設計及び用地取得費を算出するため不動産鑑定を行った。						
成果目標	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備事業 進捗率	%		0.59	1.73	1.22	
	参考又は上記指標名の設定ができない理由						
活動実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	住民説明会等	回		0	3	2	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備事業 進捗率	%		0.56	1.18	0.92	
	数値で表せない効果 ・地域住民等に対する説明会等による、片瀬江ノ島駅前広場事業の合意形成。						

4. コスト分析

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	61,735	58,125	54,089				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	48,250	59,130	54,520				
	事業費(支出済額-②報酬合計)		9,668	20,463	15,975				
	償還金利息		0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	0	38,582	38,667	38,545				
	職員数(常勤 非常勤)		4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00				
	参考:正規職員平均給与		9,101	9,219	9,167				
	①職員給与合計(常勤)		36,404	36,876	36,668				
	②報酬合計(非常勤)		0	0	0				
	③退職金相当額		2,178	1,791	1,877				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	13,485	-1,005	-431				
	①減価償却費		0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額		13,485	-1,005	-431				
	③不納欠損額		0	0	0				
	④その他()		0	0	0				
収入	行政収益(事業収入) B	0	3,040	6,102	0				
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	3,040	6,102	0				
	①分担金及び負担金 c		0	0	0				
	②使用料及び手数料 d		0	0	0				
	③国庫支出金		0	0	0				
	④県支出金		3,040	6,102	0				
	⑤その他()		0	0	0				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額		0	0	0					
収支差額(純費用) A-B E	0	58,695	52,023	54,089					
分析指標	項目	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備事業進捗率 F	0.56	1.18	0.92				
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		110,241,071.43	49,258,474.58	58,792,391.30				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	420,619	138.07	425,105	121.69	427,501	125.99	429,317
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00				

※1 職員数・・・[常勤]一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	地域住民の意見・要望に対する具体的な提案。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	片瀬江ノ島駅駅前広場の具体的な整備方針及び同駅周辺道路の安全対策等に関する地元説明会を開催した。
(3) 平成30年度末時点の課題	地域から既存駅前広場の車道廃止は、生活道路としての利便性が低下する等の意見や「車道廃止の中止」を求める要望書が多く署名とともに提出された。このことから、車道を廃止した上での広場整備については、地域住民の賛同を得ることが難しい状況となった。
(4) (3)解決のための今後の取組	地域住民から車道を残してほしいという要望が多いことから、今後も既存駅前広場の環境空間については、地域住民との意見交換等を行いながら整備の考え方をまとめていく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
	○ ア＝法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ＝市の条例等で規定されている事業 ウ＝県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ＝国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ＝法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
	○ ア＝国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ＝国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ＝国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ＝本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ＝本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	
	○ ア＝恒久的に実施するもの イ＝年限の定めのないもの ウ＝時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ＝時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ＝時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額
		○ ア＝300,000千円以上 イ＝100,000千円以上～300,000千円未満 ウ＝30,000千円以上～100,000千円未満 エ＝5,000千円以上～30,000千円未満 オ＝5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合
		○ ア＝80%以上 イ＝50～80%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝10～30%未満 オ＝10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		
○ ア＝10%未満 イ＝10～30%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝50～80%未満 オ＝80%以上		

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>片瀬江ノ島駅前通り線及び駅前広場は、昭和32年に都市計画決定し現在に至るが、片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい交通空間機能や、人々の交流等のための環境空間機能を有していない。</p> <p>近年の片瀬・江の島周辺は、年間を通じて多くの観光客が来訪している。また、2020年には東京2020オリンピック競技大会のセーリング会場に江の島が選定されたことから、今後更に多くの来訪者が想定される。</p>	
他市等の事例	なし	
市民ニーズ	把握方法	<p>①住民説明会を5回実施した。</p> <p>②片瀬江ノ島駅周辺の交通量調査を実施した。</p> <p>③著名とともに要望書を受理した。(2018年10月23日付け「小田急片瀬江ノ島駅駅前広場の車道廃止の中止を求める要望書」)</p>
	把握内容	<p>①片瀬江ノ島駅駅前広場の車道廃止は周辺道路の安全対策や利便性の低下などから実施すべきでない。</p> <p>①片瀬江ノ島駅周辺道路への通り抜け車両を排除すべき。</p> <p>①車道廃止により迂回路となる西浜橋通り線の渋滞解消を検討すべき。</p> <p>②車道廃止を実施しても、周辺道路への交通量による影響は少ないため実施可能。</p> <p>③車道廃止の中止を求める要望書と多くの署名が提出されたことから、住民の合意形成なしに整備を進めることは不可能。</p>
	対応等	<p>・片瀬江ノ島駅駅前広場周辺の整備方針に反映。</p>

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	広場の基本設計を専門業者に委託した成果によって、広場整備に向けた基礎資料を整えることができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	現状維持
	<p>片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい空間となるよう、片瀬江ノ島駅周辺に交通結節点としての交通空間機能と人々の交流などのための環境空間機能を持つ駅前広場の整備を行う。</p> <p>また、交通空間の暫定整備については、東京2020オリンピック競技大会前の完成を目指し、環境空間については、地域住民との意見交換や説明会の実施等、環境空間及び車道の在り方について検討していく。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	江の島地区周辺の基盤整備に関すること	無	無		3
2	駅前広場整備等に係る設計に関すること	無	無	1	3
3	駅前広場整備等に係る施工に関すること	無	無	3	3
4	用地取得に関すること(公社先行)	無	無	3	1
5	踏切道の改良に係る調査設計業務に関すること	無	無		2
6	踏切道の改良に係る工事に関すること	無	無	3	2

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	石原 史也	確認日	2019.8.29
----	-------	----	-------	-----	-----------